

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220502	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	グローバル社会変動下のリスクと暮らし：先端ミクロ計量経済学を用いた実証・政策研究	研究代表者 (所属・職) <small>(平成29年3月現在)</small>	澤田 康幸（東京大学・大学院経済学研究科・教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究では、11名の研究者で3年間に20編の査読付き論文が国際学術雑誌に掲載されるなど、順調に研究成果が出されている。本研究の3本柱である、①高齢化リスク、②災害リスク、③貧困リスクについて、それぞれ当初の計画に沿って研究が順調に進展しているが、JSTAR（暮らしと健康の調査）を使った高齢化リスク研究を更に進展させ、エビデンスに基づく有益な政策を提言することが期待される。今後、3本の研究をそれぞれ進展させていくと同時に、それぞれがばらばらな研究にならないよう、研究代表者のリーダーシップの下、互いに連携し、3つの研究を統合する理論的フレームワークを構築するなど、研究課題全体としての成果を出すことが望まれる。</p>		